令和5年度　新川みどり野高校　年間指導計画（シラバス）

学科	教科	科目（講座名）	対象学年	単位数	教科書	使用教材
福祉教養科	福祉	介護福祉基礎	全	2	介護福祉基礎（実教出版）	なし

目標と評価規準	
関心・意欲・態度	介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割に関心をもつことができる。
思考・判断・表現	高齢者や障害者に関する具体的な事例から、課題やニーズについて考え、表現することができる。
技能	介護を適切に行う能力と態度を身に付けられる。
知識・理解	介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解できる。

学期	月	単元	学習内容	到達度目標
前期	4月	第2編　介護を必要とする人の理解と介護	第1章　高齢者の生活と介護 ・生活支援 ・生活を支える介護 ・介護過程	・加齢にともなう心身機能の変化には個人差があることを認識し、高齢者に対するより良い介護のあり方がわかる。 ・高齢期の基本的な生活支援の方法や技術について理解を深めることができる。
	5月	第4編　介護福祉の担い手	第1章　介護従事者をとりまく状況 ・介護福祉士の養成 ・介護人材の確保と定着 ・介護従事者のキャリアアップ研修 ・介護従事者の社会的地位向上 第2章　介護従事者の役割 ・介護の役割、介護福祉士の役割 ・在宅・施設介護従事者の役割	・介護福祉士の取得方法や養成の現状について理解できる。 ・介護従事者がキャリアアップしていくための方策や自己研鑽の必要性について理解できる。 ・在宅・施設介護の特性を理解し、専門職者としての関わり方について考察できる。
	6月	第1編　介護の意義と役割 第2編　介護を必要とする人の理解と介護	第1章　尊厳を支える介護 ・その人らしく・尊厳・基本的人権 ・高齢者の人格と尊厳 ・障害のある人の人格と尊厳 ・利用者本位の介護サービス 第2章　介護従事者の倫理 ・尊厳・プライバシー保護 ・専門性と基本姿勢 ・介護従事者として踏まえるべき倫理 第2章　障害者の生活と支援 ・障害とは ・障害者の生活と支援 ・精神保健福祉 ・地域生活移行 ・就労支援	・介護の定義や目的・原則を捉え、理解できる。 ・尊厳や、尊厳を守るために必要な考え方や態度について理解できる。 ・介護従事者として必要な倫理観と、態度について理解できる。 ・障害の範囲と程度を理解し、障害者の生活環境を把握することができる。 ・障害を持つ人を地域で支えるシステムについて理解し、地域で生活するための具体的な方法を理解できる。
	7月			
	9月			
後期	10月	第6編　介護における安全確保と危機管理	第1章　介護における安全確保と事故対策 ・介護におけるリスクマネジメント ・事故予防対策　　・転倒・転落事故 ・身体拘束の禁止について ・防災対策 第2章　感染対策 ・感染症の理解　　・予防対策 ・介護現場で出会うことの多い感染症 第3章　介護従事者の健康管理 ・健康管理の重要性 ・心の健康管理　　・からだの健康管理 ・労働安全衛生に関する知識 ・家族介護者の健康	・福祉施設で想定されるリスクとマネジメントの方法を理解できる。 ・介護の現場で起こる事故の要因を考察し、事故の分析と対応、組織としての事故防止対策について考察できる。 ・感染経路、症状について理解し、感染対策について考察できる。 ・介護従事者の自己の健康管理の大切さを理解し、その方法を理解できる。
	11月	第5編　介護福祉サービスの概要と連携	第1章　介護サービスの概要 ・介護サービスの利用方法 ・介護サービス提供の場の特性 ・居宅介護サービス ・施設サービス ・障害者支援サービス ・障害者支援サービスの実際	・介護保険制度のサービス利用までの流れ、ケアマネジメントについて理解できる。 ・各種の居宅介護サービスが理解できる。 ・施設サービスの役割や特徴が理解できる。
	12月		第2章　介護における連携 ・多職種連携とチームケア ・介護と医療 ・介護支援専門員とケアチームの連携 ・介護従事者とボランティアとの連携	・障害者支援サービスの実際を、事例をとおし理解できる。 ・介護に関わる様々な職種について理解し、チームケアの目的と意義について考察できる。 ・介護支援専門員、ボランティアの役割が理解できる。
	1月	第3編　介護を必要とする人の生活環境	第1章　介護と環境 ・生活環境を整えること ・高齢者の生活と住まい ・障害者と住まい ・福祉用具の活用 第2章　自立に向けた介護 ・自立・生活支援　　・生活支援と介護 ・自立を支援する介護専門職 ・自立を支援する生活環境づくり	・バリアフリーやユニバーサルデザインが理解できる。 ・福祉用具の活用について理解でき、また、介護保険制度によって福祉用具が活用できるしくみについて理解できる。 ・自立や生活支援をICFの視点をもとに考察でき、事例をもとに、ICFの視点から生活支援の実際が理解できる。 ・自立支援のための具体的な方策について考察できる。
	2月			